

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		あんふぁん由木事業所		公表日		令和8年 3月 11日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10		十分なスペースがあります。絨毯とフローリングで分けてます。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10		児童指導員・保育士など児童の人数に対して勤務用の調整で配置しています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10		バリアフリーになっています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10		空気の入れ替え・消毒、体を使う活動の時はフローリングで行っています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10		個室があります。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	10		ミーティングは毎日。会議は月2回行っている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		電話や面接、LINEなどで話している。スタッフには必ず伝達しています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		スタッフの面談を行い意見をしっかりと聞いています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	5	意見は受け止めスタッフと話し改善へ繋げています。	情報共有の徹底を行います	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10		定期的に研修を受けていて。スキルアップにつなげる機会があります。		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10		しっかりと作成・公表が出来ている。毎日の記録の際にスタッフが確認出来ています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	10		アセスメントを行い、個別支援計画を作成しています。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10		支援に関わるスタッフ間の共通理解をもとに行っています。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10		計画に沿うように意識をした支援を行っています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10		常に確認しています。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10		適切に設定出来ていると思いますし具体的な支援内容も設定し支援を行っています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10		スタッフ同士で立案しています。		

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10		毎回工夫して内容を変えています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	10		組み合わせ支援を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10		毎日ミーティングをし、連携した支援を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	2	送迎終了後及び、翌朝のミーティング時に反省を含め振り返りを行うことやスタッフへの情報共有が出来ています。	送迎後の時間が退勤時間ギリギリになってしまう事があり、振り返り時間が取れない場合があるので送迎をスムーズに出発出来るようにする
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10		毎日記録を取っていますし、改善にも繋がっています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10		しっかりとモニタリングを行い、見直しを行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10		会議の時は支援計画を立てている管理者が参加しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10		管理者が連携をとっており、支援を行える体制が出来ています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10		情報共有の為、先生や担当の方との連絡を取っています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10		情報共有の為、先生や担当の方との連絡を取っています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
	28	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	10		必要な際には行っています。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	9	1	地域の方との交流を元にお祭りなどへの参加もしています。	今年度は東中野フェスティバルの出店や児童館へ行き他の子ども達との交流の場を作っていますが、次年度は児童館へ行く回数を増やしていければと思います。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10		SNSや電話面談などで伝え、共通理解を図っています。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	10		支援プログラムは出来ています。		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10		保護者にしっかりと説明を行っています。		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10		保護者の意見や要望に出来るかぎり応じられるように面談等を行っています。		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	10		説明を行い保護者から同意のサインを得ています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10		随時行っています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	10		地域のイベント参加の際に保護者同士で交流できる場を作っています。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10		その都度対応しています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	10		毎月のお便りや、ホームページにて発信を行っています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10		全スタッフに個人情報の漏洩の注意を説明し、サインをもらっています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10		配慮をしています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	10		今年度は2回の地域イベントへの参加をしました。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10		課題に応じた訓練を行っています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10		業務継続計画の策定をし、非常災害時訓練を行っています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10		アセスメントや保護者からしっかり伺っています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10		全スタッフに周知し対応しています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10		安全計画を作成し訓練をしています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10		常に保護者に周知しています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10		ヒヤリハットの記録を残しています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10		動画研修を必ずしています。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	10		会議で話し合い保護者にも同意のサインをもらっています。		